

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (ネオレストSD1 (CES9561・9562) 用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2
(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5	(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

<<本体側の設定方法>>

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転** (入/切) を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

本体操作部

● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	緑色全点灯	この間 2秒
● 運転 ● 便座 ● 脱臭 ● 節電	節電→橙色点灯 その他→緑点灯	
○ 運転 ○ 便座 ○ 脱臭 ○ 節電	ランプが点滅したらやり直してください。	

↓ <<下図は例です>>

手順 2

運転 (入/切) を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、
 すぐに **ビデ** (入/切) を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

手順 3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 (入/切) を押したまま、おしり (入/切) を押す。

おしり (入/切) を押す度に標準→特1→特2…特9→標準
 と設定が切り替わります。

本体表示部

◎…点灯 ×…消灯

LED種別	標準	特1	特2	特3	特4	特5
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	×	×	×	×
脱臭	◎	◎	×	×	◎	◎
便座	◎	◎	◎	◎	×	×
運転	◎	×	◎	×	◎	×

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 (入/切) から手を離れた時点で設定したコードになる。

手順 5

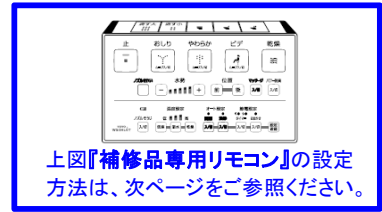
ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

コードラベル

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

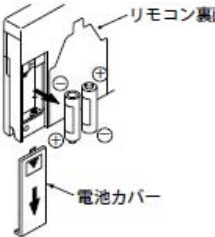
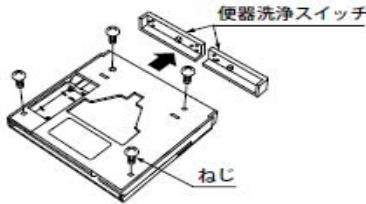
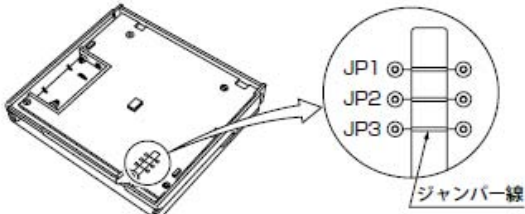
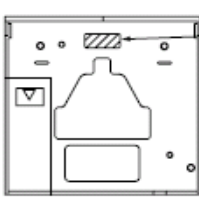


左図リモコンがセットされている 場合のリモコン設定方法

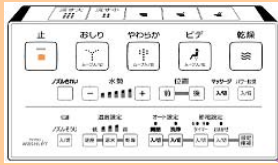


上図『補修品専用リモコン』の設定方法は、次ページをご参照ください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																			
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																			
2	 <p>便器洗浄スイッチをはずした後、リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																			
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">コード</th> <th colspan="5">◎: つながったまま ×: 切断</th> </tr> <tr> <th>ジャンパ線</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p>	コード		◎: つながったまま ×: 切断					ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
コード		◎: つながったまま ×: 切断																																		
ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																			
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																			


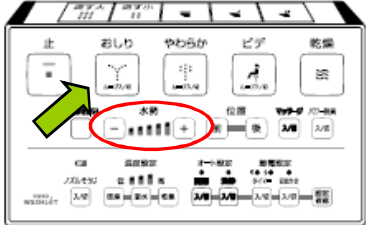
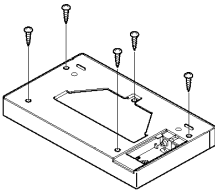
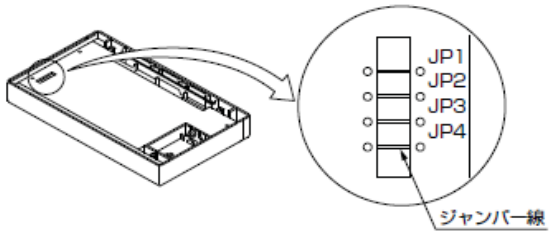
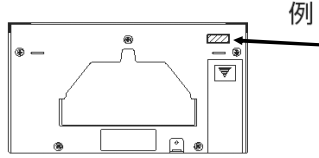
※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



『補修品専用リモコン』がセットされている場合のリモコン設定方法



<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																									
1	<p>乾電池のはずしかた</p>  <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p><リモコン裏面></p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																								
	 <p>水勢ランプがつかなくなるまで、「おしり」SWを何度か押す。</p>	<p>②「おしり」スイッチを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。 (水勢ランプが確実に消えるまで「おしり」スイッチを押し続けずに作業を進めると、特殊コードが切り替わりません)</p>																																								
2		<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																								
3	 <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ジャンパ線</th> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td></td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1		◎	×	◎	×	◎	×	JP2		◎	◎	×	×	◎	◎	JP3		◎	◎	◎	◎	×	×	JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	<p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上的の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p> <p>*補修品専用リモコンではジャンパー線が4本ありますが、本体側で特コードを設定する場合は特5までしか利用できませんので特1～特5内で設定を行ってください。</p>
ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5																																			
JP1		◎	×	◎	×	◎	×																																			
JP2		◎	◎	×	×	◎	◎																																			
JP3		◎	◎	◎	◎	×	×																																			
JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎																																			
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。(乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。)</p>																																									
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																								

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)